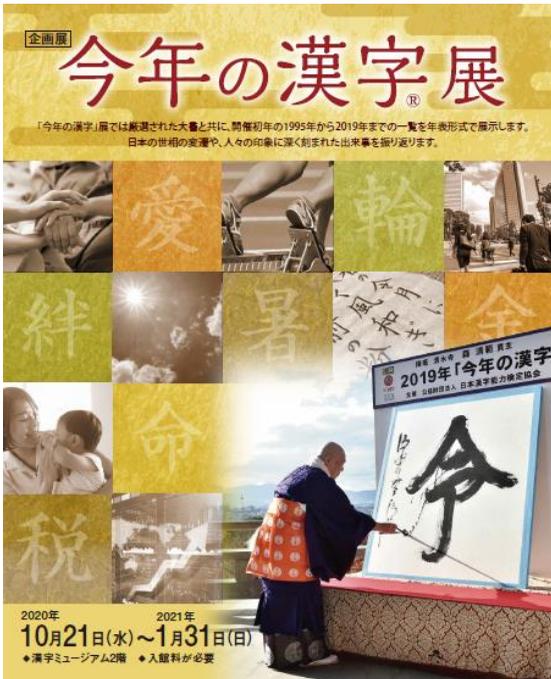


漢字ミュージアム便り

2020年 秋号

企画展「今年の漢字®」展



■「今年の漢字」発表開始の1995年から2019年までのその年の出来事と、応募数3位までの漢字一字を掲示した年表を作成しました。大書展示の迫力とともに、世相の変遷を振り返ることができます。

また、12月14日には2020年の「今年の漢字」応募数1位の漢字が、清水寺で揮毫されます。揮毫された大書は、12月24日から当館にて展示予定です。ぜひお越しください。

【期間】2020年10月21日(水)~2021年1月31日(日)

【場所】漢字ミュージアム2階 【料金】入館料のみ



◀年表
(イメージ)

11月1日に「今年の漢字」の募集開始！WEBサイト、はがきにて、2020年の世相を表す漢字一字を応募してください。

企画展「なやみ深き漢字学習ー明治から戦前へー」



■明治時代、近代的な学校制度が始まります。当時、現在の私たちが使っているような漢字ドリルやノートはまだなく、小学校のそれぞれの学年で学習する漢字の数も決まっていません。さらには、漢字を廃止しようとする運動もありました。そのような時代の人々は、漢字をどのように学び、教えていたのでしょうか。なやみ深き漢字学習の近代に迫ります。

【期間】開催中~2021年1月5日(火)※期間を変更して開催

【場所】漢字ミュージアム2階 【料金】入館料のみ

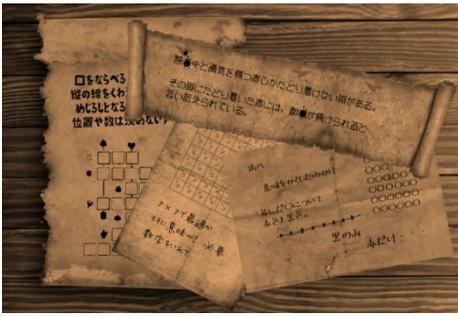


▲『小学指数図』
(明治時代)



▲『硬筆練習帳』
(ペン文字会編、大正15年)

イベント「伝説の街に続く道」



漢字ミュージアムの展示をヒントに、キーワードを導き出す「なぞなぞ」イベントを開催！

【期間】9月16日(水)～10月18日(日)

【場所】漢字ミュージアム2階 【料金】入館料のみ

～ストーリー～

たどり着いた者に知恵が授けられる伝説の街（タウン）がある。好奇心と勇気と考える力をもとに、今回発見された“街への手がかり”を解読せよ。挑戦者を待つ！

漢字文化研究所 講座

漢字文化研究所による臨時WEB講座をYouTubeで公開しています。

【漢字ミュージアムWEBサイト】→【講座・講演会】で講座一覧を見ることができます。

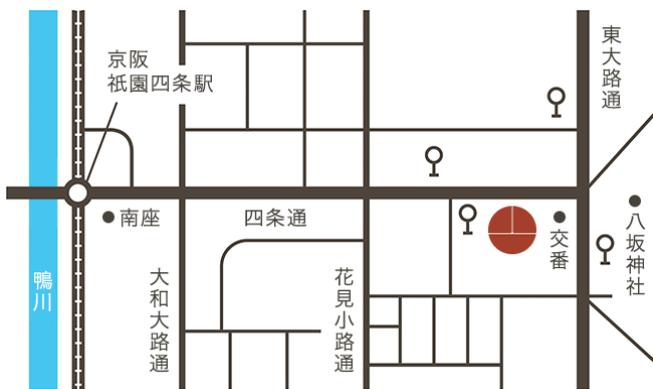
「漢字に見る人生の知恵」「シンニョウの点の数～情報機器と漢字研究～」

「漢字動物園－キリンと象とペリカンと－」「漢字と日本人※まもなく公開」（阿辻哲次 所長）

「漢和辞典に載っている漢字の発音」（田中郁也 研究員）

「とおいむかしの漢和辞典」（小林雄一 研究員）

アクセス・開館情報・入館料



八坂神社・知恩院・建仁寺・清水寺に近い立地です。

【アクセス】

電車 ・京阪本線『祇園四条駅』徒歩5分
・阪急京都線『京都河原町駅』徒歩8分
・地下鉄東西線『東山駅』徒歩10分

京都市バス ・『祇園』下車すぐ

※来館者用の駐車場はございません。お近くのコインパーキングか公共交通機関をご利用ください。

【所在地】〒605-0074 京都市東山区祇園町南側551番地

【電話】075-757-8686

【WEB】<https://www.kanjimuseum.kyoto/>

【休館日】当面は月曜・火曜（祝日の場合は翌平日に振替）

【開館時間】当面は平日11:00、土日祝9:30

※いずれも16:30最終入館、17:00閉館

開館状況の最新情報はWEBサイトかお電話でご確認ください。

【見学時間】60分～90分目安

【入館料】

大人800円／大学生・高校生500円／中学生・小学生300円
小中高生1名以上と同伴の大人は、1名につき300円引き(大人2名まで)

【新型コロナウイルス対策】

新型コロナウイルスの感染拡大対策を講じて開館しています。
ご来館前にWEBサイトをご確認ください。



漢字ミュージアムを
ドローンで体感しよう！
(3分映像)

漢字ミュージアム 🔍

漢字ミュージアムSNSアカウント

